

会 議 要 旨

会 議 名	令和元年度 第1回館山市行財政改革委員会
開 催 日	令和元年5月21日(火) 15:30~17:30
開 催 場 所	館山市役所 本館2階会議室
出 席 者	◆ 館山市行財政改革委員会委員 8名 ◆ 館山市(事務局) 副市長・総務部長・行革財政課(課長以下5名)
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	1名
会議概要・結果等	<p>○委嘱状交付 市議会議員の改選に伴い、新しく委員に就任した議会推薦委員2名に委嘱状を交付。 退任⇒石井信重委員・本多成年委員 就任⇒石井敏宏委員・瀬能孝夫委員</p> <p>○協議事項 事業仕分けの実施方針 ①対象事業の選定 ②各委員の参加について</p> <p>①対象事業の選定 前回の委員会で、事務局からイベントに特化した事業仕分けにする提案をしたが、全てイベントで行うことの是非や、他にも議論すべきことがあるのではという各委員の指摘から、事業選定の観点から見直し、再度対象事業案を提案した。</p> <p>【主な委員意見】 〈事業選定の観点について〉</p> <p>○除外する事業「その他政策的な要素が強い等」とあるが、本当はここに金額が大きいものが入ってくる。手を入れたいが、事業仕分けの中でぼんととりあげるのは無理だろう。事務局案でよいと思うが、いつかは手を入れなければならない。</p> <p>○イベントに関する事業、これでいいと思うが、これだけ市の負担が大きかったのかと思った。今回の案5事業以外も、手を付ける必要があるのではないか。</p> <p>○政策的要素が強いというのが、何を意味するのか、人によって異なるが、過去の事業仕分けの実施状況からすると、ほぼすべての事業をやったこと</p>

があり、聖域はない。ただ、優先順位はあって、今回は一旦決めたと。今後何年事業仕分けをやっていくかによって、本当は対象事業の決め方は変わってくるだろう。

○事業の必要性、事業を伸ばすための議論があってもいいと思うし、この事業はちょっとどうなんだろうという議論のあり方、費用対効果を求めた議論は必要だろう。

●イベントの5事業、前回点数化したものを上から順に、という感じか？

⇒原則、事業費で上から順に引っ張ってきたが、金額のみで選ぶと、全て観光みなど課になってしまう。事業仕分けに係る負担が大きいので、観光みなど課担当で、フルコストが大きくても、歳出額が100万円下回るようなものは除いた。

●フラメンコは議論されているところがある。課題はあると思う。若潮マラソン大会・花火大会は、館山市のシンボリックなもので、無くす云々という議論は乱暴。いいやり方ができればという議論になれば。館山まるしえはよくわからない。里見まつりは結構色々言われている。

●フラメンコフェスティバルは、20年以上前の市の施策の一環。大学生が観光客になってくれていたり、子どもにフラメンコを教えてくれたり、還元されている部分もあるが、制度疲労のようなもので、開始した当時はすごくよかったが、その時運営に携わった人たちも年齢を重ねている。自分たちの生活文化と乖離しているところも出てきた。

⇒フラメンコフェスティバルは、市民のやる気だけではどうにもならないところもある。現状どうなのか、客観的に見たいという考え。

●里見まつりは、やり方を変えるという話も聞いている。マンネリ化して、色々理由があるのだろう。城山でやるというのも提案してみたいが。館山まるしえはあまりお客さんがいないと感じる。まるしえで旬の野菜が売っていて、それがその後スーパーに寄るともっと安い値段で売っている。客は生産者のほうが安いと期待するので、何故だろうという気持ちになった。

●イベントについて取り上げることは賛成だが、コンセプトを議論するような仕分けになった場合、行政側でどういう処理がなされていくのか。

●補助金の案件であれば、その事業を廃止するかどうかはわからないが、行政として税金を支出することはやめたほうがいいのか、という選択肢は出てくる。そうなった時、主催団体（実行委員会）などがどうするかは、次の段階。委託事業の場合は、市が「やる」ということを決めている。実行委員会と協議はするが、市としての判断が最優先されていくのではないのか。

⇒コンセプトが違ってくれば、予算の組み方も変わってくるし、予算査定でも議論していく。金額的に目に見えないものでも、事業仕分けの結論はフォローしていく。宣伝の仕方、人の配置等、目に見えた形になっていくのでは。

○イベント事業は対象者が広いし、事業仕分けにかけた場合。「なくなるのか、どうなのか」という誤解が生まれやすいのではないのか。一般の市民に誤解がないほうがよいのでは。

- 対象事業にあげる＝「やめる」ことを考えているわけではないが、外に出た瞬間に、そう考える人がいるのでは、ということですね。過去イベント、その市にとってシンボルとなるような対象となることもたくさんあった。対象事業として出たからといって、極端に「やめるのはおかしい」という断片的なとらわれ方をする人は意外にいなかったと感じている。
- 前回まで一番大きな問題だった、イベント事業に関し、市の職員がかなり手一杯だという点。逆に、その他5事業については、そこまでではない、ということですね。職員の負担が軽減されれば、行政運営がうまく回るということが、市民に伝わるのか。自分たち委員は正直に言ってもらったけれど、なかなかそういった結論には達しないのでは。
- 事業仕分けの資料に、いかにその実状を落とし込めるかではないか。ちゃんとした情報を出せるか、ということが大切。

●残りの7事業、とくに福祉分野、どのように選んだのか。業務において、創意工夫・改良の余地があるということなのか。

⇒まず選定の観点にかかる事業かどうか。館山市はかなり事業を絞っていることもあり、基準にかかっている事業自体がかなり少ないということもあった。その中で、対象となり得る分野、行革方針で課題にあげている社会保障関連経費、公共施設、補助金。以前の委員会資料として示した、市事業一覧をもとに、市単独事業のなかから、課題となっている分野を選んだ。ただし、現在進行形で見直しをかけている事業は除いた結果。

●一般的な市民目線だと、福祉・教育・子育て分野は関心が高い。事業仕分けの対象とすることで、行政に反感を持つ人が増えるのでは。でも、この先社会保障関連経費をどう抑制していくのかというなかで、ここで市民の声を聞いて、真摯に受け止めておく必要もある。そういう意味では賛成だが、とくに障害者福祉関連の事業については、今回事業仕分けの対象とするのは、まだ早いのではないか。

●敬老祝金は事業仕分けの対象としなくてよいと思うが、他は市民が関心を持ちにくい事業なので、知ってもらおうという意味でもよいのではないか。でも、すぐに「切る」とか「削減」というイメージがつかないようにする方向性は大事。配食サービス、民間でもやっている。一食も安いし、議論するのが自然なことではないか。サービスとしてはもっといろいろなニーズがあるはず。アイデア出しを含め、事業仕分けでやったらいいと思う。看護師修学資金貸付金は安房の看護師不足という大きなテーマで取り上げるのはいいと思う。子育て支援対策事業（元気な広場の運営）は、個人的には難しいと思う。指定管理者と担当課の議論を成熟させるべきだ。社会教育施設の運営は、どんどん活用していくため、アイデア出しという形で議論できたら。

●看護師修学資金、近隣市と足並みを合わせなければいけない。議論する意義はあると思うが、市単独でやる意義は薄いのでは？

⇒鴨川市でも昨年度の事業仕分けで対象事業となっている。周囲の市町で集まって話し合うきっかけになるのではと考えている。

●貸付金の事業自体、安房3市1町の共同事業か？

⇒制度は個別に持ち、内容は3市1町でそろえましょうというやり方。

●その他事業7事業のうち、5つを絞るところから始めるのか。それとも事業の内容を判断するのか。どれを選ぶのか提案がないと、一つずつの議論になってしまう。

⇒7事業提案したのは、今までイベント事業以外について議論して来なかったため。事務局の恣意性を避けたいというのもあり、いくつかの案がある中で、話を聞いて、各委員がより強い問題意識を感じたものを選んでいただければと思っていた。もう一点は、事業仕分けを受ける側は負担がかかってくるので、一つの課に1件が割り振られる形であれば、やりやすいかとは思う。

●議論のエネルギーが湧きそうなのは、子育て支援対策事業と社会教育施設の運営。改善点を議論するのは建設的でよい。障害者福祉関係の事業仕分け、議論があったが、事業の経緯や近隣市との比較、議論して中身があると感じた。

●敬老祝金、10年前くらいに一度対象事業となり、否定的な結論が出たと記憶している。自分は否定論者だが、社会保障ではない。市民理解を得るか、政治的判断で廃止するかだ。

⇒敬老祝金は、民生委員が該当者の家をまわり配布し、不在の場合市の職員が行く。官・民両方で人手がかかっている。子どもたちにカードを作ってもらい、渡してはどうかという意見もあるが、一度実施し、あまり好評ではなかった。他市でも見直しがかけている、結論が見えているというのはあるが、一定の基準を満たしたら無条件に何かをあげる、ということへの考え方を整理したい。

●敬老祝金、今の話はよくわかった。昔はたくさん生まれていたのが、今は250人しか生まれていない。平均寿命、女性は87歳。負担する側がこんなに少なく、止めるべきだと思う。この感覚が市民にも映像が浮かぶくらい示せれば、よい議論のツールだと思う。

●敬老祝金は対象事業に選ばれるベスト10に入るような事業で、議論すれば市民も「もうやめれば」となるが、最も事業仕分けの結論通りにはならない事業でもある。

●高齢者の免許返納者に対し、手厚い政策がないか模索している。同じ高齢者対策として、敬老祝金の使い道という議論があってもよいのでは。パイは一つ、どう分配するかが政治だと思う。廃止の方向だから、ではなく、より手厚いセーフティネットのための議論があってもよい。

●選定の全体はこの通りでよいと思うが、その他、公共施設や補助金等、対象となるような事業はなかったのか。10年前の事業仕分けと比較し、そぎ落しているというのはわかるが、建設系がない。一般市民はソフト系じゃなく、建物とか道とかのほうの方がわかりやすいのでは。

⇒施設関係、入れようかという話もあった。ただ、公共施設等総合管理計画や行革方針で「利用者の声をよく聞きながら」としている。個別の施設は、学校の方は再編検討委員会が動いているが、その他は個々の担当課がまとめていくことになっている。議論が統廃合ということになると、事業仕分けで一発でやるにはなじまないのかな、ということもある。施設の修繕等も事業期間がある。施設の維持管理や投資経費にかかるものは対象にしに

くかった。

●ハコモノは、解体まで含めると建設費の3～4倍経費がかかると言われている。見直しできると非常に大きいですが、学校は別途委員会で話し合っているし、他の色々な施設、事業仕分けとしては重すぎるのでは。社会教育施設の運営というの、公共施設等総合管理計画と全体を含めてやらないと生きてこないのでは。福祉タクシー利用助成などは、公共交通網形成計画の一端に入れられるから、ここで事業仕分けすることが、そちらに対して相乗効果があるのかどうか、悩むところ。

●公民館だけを取り上げるのはなぜか？

⇒社会教育のための施設だが、利用の規則が利用者を減らしてしまっているのではないか。利用のほとんどがリピーターで、サークルや地区の方。稼働率も低い。

●公共施設等総合管理計画でやる、ということであれば、公民館は本来事業仕分けの対象から除外しなければいけないのでは？

⇒統廃合するにしても時間がかかる。市民の方に、使われていないということを知り、維持管理にお金がかかっているのであれば、その間の歳入面の議論が出来るか、と考えている。

公民館だけでなく、学習等供用施設まで含め議論していただくことで、横並びにある施設の運営方法やルールを見直すきっかけとなれば。

●コミュニティ関連施設、という形で事業仕分けで議論すると、1時間では足りない可能性がある。しかしながら、今回あがってきた7事業、すべて対象事業になり得ると考える。

○7事業を5事業に絞るかどうかは各委員の判断。

○7事業やると、ばてると思う。平均年齢が60歳近い市だから、年配の方も入ると、7事業はきつい。社会教育施設の運営は壮大なテーマだし、敬老祝金は政治判断だ。この2事業は除いたほうがよい。

○敬老祝金と看護師修学資金貸付金は除いたほうがよい。

○敬老祝金は除外してよい。子育て支援対策事業はどこに着地するのか、疑問がある。

○敬老祝金と配食サービスは除いたほうがよいと思う。

○障害福祉関連の2事業は、議論する必要はあるが、今回は早い。関係団体と話し合ってからの方がよいと思う。でも、どちらか1事業はやったほうがよいのかも。

○福祉タクシー利用助成と配食サービスは除外してよい。敬老祝金は残してもよいのでは。

○社会福祉課の事業はどちらか一つで、敬老祝金は市民が気付きを得るためにも、やったほうがよいのでは。自分も、最初イベントは必要だと思っていた。でも人件費がすごいことになっていて、そういったことは言われないうとわからない。何故やらなければいけないのか、ぶれないようにやれば、市民にも気付きがあると思う。

○社会福祉課の2事業、見直しそのものには反対だが。だからといって対象事業にするなどと言わない。心身障害者医療費助成は県の制度ともかかわってくるので、対象事業に残したほうがよい。

※イベント5事業、その他5事業決定。

②各委員の参加について

●委員全員が全事業を担当するのか？

⇒1人1事業程度と想定している。参加の意向は各委員にお任せする。

○議会からの委員のお二人が仕分け人に入るのは、別の判断が必要になってくるが。

○過去の議事によれば、議員は慎むべきということだった。

○議員はやろうと思えば委員会でやる機会がある。議員以外の方がやったほうが、行政の仕分けとしては望ましいのではないか。

⇒参加の意向、希望事業はメールで調整することで各委員了承。

※以下を確認し終了。

・次回の開催は10月中旬頃で調整。

・対象事業の公表は、市民判定人応募者に先入観を与えないよう、応募締切（7月12日）までは公表しない。公表は市民判定人研修と同じタイミングにて行う。